

中央 日本庭園 わらわら版

1年間ありがとうございました

会長 山岡 さと子

桜の開花とともに気分上昇の季節となりまして今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか？私どもの事業の際は、地域の方々のご理解・ご協力を賜り成功裡に終了出来ましたこと心より御礼申し上げます。特に昨年に開催しました「ハロウィンワールド in WARABE」では、自慢の仮装で参加した千人以上の人々が事故もなく、怪我もなく楽しい思い出を持ち帰ることが出来たのも警護や誘導を快く引き受けて下さいました地域の方々がいらしたから…と、この場をお借りして感謝申し上げます。ボランティアとは「ボランティア活動に携わる人のことである。一般的に自立的に無償で社会活動などに参加し、奉仕活動をする人を指す」とあります。中央コミュニティ委員会は正にボランティア団体です。子どもたちの未来のために、ふるさと構築のために、家庭で出来ないこと、学校で出来ないことを、私たち地域ボランティアで考え



遂行してまいりました。皆さまの地域の中に、子どもたちのためにボランティア活動を行っている私たちがいることを改めてご理解頂き、更に協力頂けることをお願いして、年度末の会長挨拶とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

いと思ひ、事業を進めております。子どもたちの心に残る事業・心を育む事業を考え、思い出の1ページに刻んでもらえたら幸いです。更にもう一步。事業を通して「心の成長」の役を担えたらと思ひます。それは、思いやり・優しさ・いたわり・そして自信。自分を信じ、自分の可能性に賭けチャレンジする精神。失敗を恐れては何も始まりません。失敗は次のステップへの一歩でもあるから…。突き進む中においても、人には優しく相手の立場に立って、物事を判断出来る大人になってほしいと願いつつ、事業を遂行しています。大人に伝えるのは難しいですが、柔軟な子どもたちには繰り返し伝えれば、心豊かな大人になってくれることを確信しています。

皆さまの地域の中に、子どもたちのためにボランティア活動を行っている私たちがいることを改めてご理解頂き、更に協力頂けることをお願いして、年度末の会長挨拶とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

コミュニティ委員会視察研修会

1月29日、快晴に恵まれ研修会を実施。総勢26名の参加者で車内は満席でした。目的地・群馬県を目指し出発。進行方向には常に世界遺産の富士山を仰ぎ、群馬県の名峰、浅間山が私達を迎えるように姿をみせてくれました。

研修の目的は健康の源である「食」に関連した工場見学。最初はお菓子工場「ガトー・フェスタ・ハラダ」(フラスコで有名)では、お馴染

みの白装束に身を包んだ作業員が、三重三重のチェック工程で丁寧に包装し、安心できる商品に仕上げていました。見学終了後、待ちに待ったお土産の買い物では大きな袋を抱え込み、高崎市内の昼食会場では、日本庭園を眺めながら美味しい料理にひとときを過ごしました。

次の見学地は高崎ハムです。事前にVTRによる説明を受け見学しました。生肉は4日間の熟成工程と検査を経て商品化。昨今、「食」に関する事故は多様化しており、メーカー側としても可能な限りの検査と注意を払い、安全な商品を提供していることを目の当たりにしました。帰路、休憩を兼ね「道の駅」に立ち寄り野菜を物色。車内は歩く場所も無いほどの土産物で埋め尽くされました。

楽しく有意義な研修会は予定通りに進み、全員無事に帰着しました。

親子ふれあい会「わらび探検隊」開催

2月2日、あいにくの曇りの日で肌寒い中、元気な子ども達と保護者、そして一般の参加者、約40名が「くるる」に集合。注意事項の後、4名のガイドさんに見守られ、「塚越コース」の史跡探検がスタート。史跡や観光スポットではガイドさんの説明があり、初めて聞いたり見たものも沢山ありました。丁張稲荷神社や機神社、同敷地内の観音堂は素晴らしく、これら史跡を管理されている方々に感謝し「蕨の宝物」としてこれからも大切にしなければならぬと誰もが感じたことと思います。

狭い蕨の一角を歩いたわけですが、塚越地区の広さには驚きました。蕨駅近くで小雨に見舞われましたが、皆さん無事「くるる」に帰館。ガイドの皆さんに感謝し解散しました。

★わらび探検隊に参加して

子ども実行委員

甲斐 さくら

私が幼いころから住んでいる蔵の探検がありました。駅の近くの「くるる」からスタートして、塚越などの神社を見学しました。事前に配られたスタンフラーの問題の答えを探したり、昔の歴史を学んだりしました。実際に見たり、ガイドさんの話から、今まで知らなかった事が聞けたりし、私が住んでいる蔵に深い歴史があると思わなくてびっくりしました。

そして、蔵市に行った事がない所などに行けたので楽しかったです。昔から今まで語り続けられている文化や歴史を大切に、後から生まれる人に伝えてあげたいです。今回の経験はとても良い学習となりました。本当にありがとうございました。

子ども実行委員

齊藤 美奈

私は、4～6年生にかけて、中央コミュニティ子ども実行委員をしてきました。



そのなかで、わらび探検隊は、6年生で始めてやりました。わらび探検隊が開催されたのは、2月2日の日曜日、とても寒い日でした。参加者は小さな子どもが多かったです。約1時間半ぐらい歩き、ちょっと疲れましたが、ですが、私は須賀町にすんでいるので、塚越のところ

とか色々知ることができてよかったです。

なかでも、機神社の2代目高橋新五郎さんのお話は、徳川家康のお告げの夢からあそそまで行くのはすごいなと思いました。

私は、4月から中学生になりますが、中央コミュニティ子ども実行委員で学んだことを活かして、中学校生活を送りたいです。

子ども実行委員会副実行委員長 阿部 光夏

わたしは、この「わらび探検隊」に参加して初めて知ったことは、たくさんあります。電車のホームの近くに像が立っていたりと、ほかに書ききれないほどあります！ですが、もっとしつもんして、ぎもんをういてみたかったです。

学校みんなに「こんなところ」「こういうのがあるんだよ！」などとはなしたら「そうなんだ!!」や「はじめてだった!」といわれてよかったです。またらいねんも、実こいいんに入りたいです。なぜかというところ、こういう初めての体験や友だちとの友情が、ふかまるからです。これからもよろしくおねがいします。

★ハロウィン売上金を蔵市に寄付

子ども実行委員

古市 来美

私たちは、ハロウィンのイベントのなかで、毎年炊き込みご飯などを売り、その売り上げを寄付金にして市長さんに渡しています。毎年、たくさん売れるように、私たち子ども実行委員もめいっぱい声をかけています。そのかいあり、今年もわらび市にたくさん寄付することができました。わらび市長さんは、忙しいのに私たちのために時間をあけてくれました。そのとき

市長さんは、「このお金

金があります。これからわらび市をよろしく願います」と

言っていました。やはり未来をつくるのは市長さんだと思います。

なので、この寄付金を何かの役にたてたいだけたらうれしいと思います。

1回の寄付金は少ないかもしれませんが、この活動を続けていけば、たくさん寄付ができると思います。子ども実行委員の人数は、私が4年生のころから毎年増えています。このままだ子ども実行委員の人数が増えていけば、もっと多くの寄付ができるかもしれません。そのことによって笑顔になる人が増えていってくださうれしいです。

子ども実行委員

荒木 ほのか

ハロウィンでのバナナのたたき売りの売上金を蔵市に寄付するために、よりたか市長にとどけました。

よりたか市長は笑顔で、「蔵市民の皆様のために使わせて頂きます。ありがとうございました。」「言っておりました。

私は、赤い羽根の募金はした事はありませんが寄付は初めてでした。なので、とってもうれしかったです。バナナのたたき売りをしてくれた浅草雑芸団の皆様にも感謝したいと思います。ありがとうございました。



★親子パン作り教室

子ども実行委員

大塚 たくや

3月9日に子ども実行委員のパン作りがありました。ほくにとつて初めてのパン作りでした。こねるのが大変でした。成形でまるめるのが、とてもむずかしかったです。もっとかん単にできると思っていました。やく前にオリブオイルをたくさんかけてしまったけど、うまくできてよかったです。

ドライイーストをつかうことがわかりました。楽しかったです。また家でも作りたいです。

子ども実行委員

上杉 音

わたしのパン作りの思い出は、おいしくできたことや協力しあって作れたところです。こねたり、丸めたりしてたのしかったところもありましたし、むずかしいところもありました。しっぱいもありました。けれど先生やみんなに「すごいじょうずだね」と、ほめられて、とってもうれしかったです。



ゼリーやサラダも作りました。わたしはニンジンジュースはきらいでしたが、ニンジンジュースをゼリーにしたら、とってもおいしかったです。サラダもおいしくできあがりしました。家でも作ってみようと思います。

ました。また次も、子ども実行いいんに入ってパン作りをしたいです。

子ども実行委員

櫻井 彩純

子ども実行委員の最終日に親子パン作り教室がありました。パルシステムの先生が教えてくださり、親子一組となってパンを作りました。フォッカッチオは、生地を作るのが大変でした。生地は固かった時もあったので、適量の水を足していきました。しかし、まだ固かったので、先生が優しく教えてくれたので、やわらかくおいしそうな生地になりました。

キャロットゼリーはキャロットジュースをボールに入れて、ミカンなどの具材も入れ、コップのなかに入れました。そして冷蔵庫の中で固めている間にケーキの盛り付けをしました。いちごとブルーベリーの具材で色とりどりのケーキとなり、とてもおいしかったです。

親子パン作り教室は、初めての経験で以外と大変でしたが、家でも作れると思ったので、今度作ってみたいです。

★解散式を終えて

子ども実行委員

杉原 有珠



わたしは、子ども実行委員を3年間やってきました。4年生、5年生は、同じ小学校の人が少なく、みんななじめないまま解散式の日がきました。でも今年も、同じ学年、同じ学校の子がわたしを合わせて4人いました。なので、子ども実行委員の活動がはじめてからすごく楽しかったです。

そしてもう解散式。わたしは「あつというまだな」と思いました。「こうやって子ども実行委員の人たちとあえるのは最後なんだと思う」と、かなしい気持ちになりました。でも、せっかく最後にみんなとこうやってあえるな」と思い、おもいっきり楽しみました。こうやって楽しく思い出にのこる子ども実行委員の解散式ができたのは、役員のみなさまのおかげだと思えます。これまで子ども実行委員を支えた人々が、この解散式をつくりあげてくれたのだと思います。そしてわたしは、「この子ども実行委員があったおかげで仲よくなれた人がたくさんいるんだな」と解散式がおわった今思えます。すごく楽しい思い出をありがとうとつぶやきました。

子ども実行委員会実行委員長 伊藤 翔絵

「実行委員長としてがんばります」。その言葉から始まった私の実行委員活動。最初の活動はグラウンドゴルフだった。しかし、私は別の用事があったため行けなかった。しかし、次の活動ハロウィンワールドでは、実行委員長として舞台の上で言葉を話さなければいけなかった。私は緊張してしまって言葉をうまく話せなかった。しかし、ちがう事を話してしまっただけで、そのときはそれが言えてほっとしました。そして親子パン作り。いつもできないパン作りを体験できたし、サラダ、ケーキなどを食べたりできてとてもいい経験になりました。そして解散式。1年間この子ども実行委員をやり、そして実行委員長をやって、とても一人ひとりの活動の大切さを学びました。1年間とても楽しくて、充実した日々を過ごせました。

新年度の子ども実行委員を募集 青少年育成部会 水野 幸

子ども実行委員は中央小と中央東小の4、6年生の子どもたちが、学校や学年の垣根を越え、さまざまなイベントを通して活動・交流しています。

春のグラウンドゴルフに始まり、秋にはハロウィンワールド、冬はてくてく蕨と題し、蕨を採集。また最後の解散式では、親子パン教室も行い、大いに盛り上がるイベントで今年度を締めくくりました。子どもたちはそのイベントでも主役となって大変活躍してくれました。

次年度もまた新たに多くの子どもたちを募集します。(両小学校にポスターを掲示します)一緒にイベントを盛り上げたいという活発な子。内気だけれどもいろいろな人と友達になつてみたいと考えている子。どんな子でも大歓迎です。子ども実行委員の一員となつて一緒に楽しい思い出を作りましょう！

今年もきれいなチューリップが咲きます

事業部会長 大鷲 輝国



昨年の10月、コミュニティ委員会事業部と公民館ボランティアの方で、花壇にチューリップの球根を植えました。今年はずいぶん寒かったです。3月にはそろそろ芽を出してきます。4～5月に

なると、いろいろな色のチューリップが一緒に咲くと思います。近くを通ったときは、ぜひ御覧ください。

そして、6～7月にはリサイクルフラワーセンターから花苗の提供があります。これからはきれいな花壇づくりがんばります。一人でも多くの方に「きれいな花を見ると心が癒されるね！」と言ってもらえるように…

中央東小学校「感謝の会」に出席

3月11日(火)中央東小学校体育館にて「ボランティア感謝の会」が開催されました。子どもたち主催のこの会は、普段登下校の際などに交差点で誘導している交通指導員、定期的にパトロールしている「地域で子どもを守る会・パトロールピース隊」、町会有志の方々などを招待し、感謝の気持ちを伝えるものです。

子どもたちの歌あり、メッセージあり、花のプレゼントあり、と短時間にも関わらず中身の凝縮された感動の会でした。指導する先生方の熱意と優しさ、子どもたちの純粋さと可愛さ、全てに感動です。お招きいただきましてありがとうございました。

これからも皆の安全・安心のためにパトロールを続けてまいります。



市長タウンミーティングの案内

市長が市民の皆さんといっしょに蕨のまちについて語り合うタウンミーティングが開催されます。テーマは平成26年度施策・予算です。ぜひ皆さんのご意見をお聞かせください。とき 4月19日(土) 午後2時～3時半 ところ 中央公民館 1階集会室

身近な自転車事故

自転車に関係する交通事故の死傷者数が全死傷者数の34.6%を占めています。なかでも自転車事故の72.1%が、交差点での事故。安全不確認や一時不停止などが原因です。安全確認・安全走行・ルールを守る。徹底しましょう。

まだまだなくならない振り込め詐欺

【振り込め詐欺の件数と被害額・平成25年度】
全国 約2900件 約260億円
埼玉県 約700件 約18億6千万円
蕨市 約24件 約4600万円

- ・ 不審な電話に注意しましょう
- ・ 思い込みにご注意しましょう
- ・ 冷静になって判断しましょう

編集後記

平成25年度も盛り沢山の事業を実施。各部会の精力的な活動のもと、無事に終了する見込みです。特に子ども達を中心とした事業は「子ども実行委員」の目覚ましい活躍なくして成り立ちません。子ども実行委員の皆さんに感謝申し上げます。更に大きく成長されることを祈念します。

(広報部 新井)